

3類型	農林水産物	通巻番号	1 - 20 - 005
地域資源名	小麦	認定日	平成20年7月4日
地域	北海道帯広市	所管省庁	農林水産省 経済産業省

事業名: 減農薬・有機栽培小麦の石臼製法による小麦粉を使用した焼き菓子等の地場製品の開発

会社名(代表) 有限会社 コスモス
連絡先: TEL: 0155 - 62 - 2887

所在地: 北海道帯広市西18条南36丁目2番地51

FAX:

(共同申請者) アグリシステム 株式会社

事業概要(新たな活用の視点)

- ・本事業の共同申請者、アグリシステム(株)は、当社の属する企業グループの中核企業であり、有機・減農薬栽培等の生産から契約農家の指導、集荷、食品加工、販売までを手がけている。
- ・本事業では、これまで非効率とされ、大手製粉会社が参入してこなかった石臼製粉による小麦粉の量産技術をアグリシステム(株)が確立し、その小麦粉を使用して、当社が、栄養価・機能性が高く風味の良い、焼き菓子等を開発する。
- ・商品化に当たっては、原料の栽培履歴から流通段階まで、QRコードを活用したトレーサビリティシステムを導入する。



〔有機小麦(キタノカオリ)畑〕

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・石臼製粉は一般製粉と比べ栄養素が失われにくく、品質面で優位に立っている。また、本事業での石臼製粉による小麦粉の生産量は国内で最大となる見込みである。
- ・国内有数の小麦生産地である十勝管内の契約農家による特別栽培生産小麦粉を、一貫したトレーサビリティシステムによって指導・管理することで、栄養価・機能性が優れた商品を開発することができる。

市場性

- ・近年、外国産加工品の異物混入事件等が社会問題化し、加工食品の原材料の国産回帰、トレーサビリティの確立を求める消費者ニーズが高まっており、国産小麦の国内需要の拡大が期待できる。

販路

- ・初年度は、既存商品の販路である、首都圏の高級スーパーや全国の自然食品店を活用し、2年目以降は、展示会・アンテナショップ等に積極的に出展していく。



〔収穫された小麦〕

地域資源における関係事業者との連携

- ・原料小麦は、地域の契約農家に、製品の販売は、十勝エスタ等と共同で行う。
- ・原料や加工品の成分の調査・評価は北海道立十勝圏地域食品加工技術センターに指導を受ける。



〔工場内〕